

●とびくす●

防災訓練に参加して(その2)

矢部洋二郎 (防災担当): 文中敬称を略します

【徳島県総合防災訓練】

鳴門市ウチノ海総合公園 / 11月7日 /

黒崎仁資・福井政人・山元尚武・蓑田勉・矢部洋二郎

徳島県総合防災訓練では被災宅地判定士も参加して行います。擁壁の上にある住宅など、被災現場では被災建築物応急危険度判定とセットで判定する必要があります。会員判定士の方は、ぜひ被災宅地判定士もセットで取得するようにしてください。



【小松島市総合防災訓練】

坂野小学校 / 10月27日 /

大木茂樹・庄野章夫・時本昌典

建築士会からの小松島市への初の参加でした。小松島市津波ハザードマップによれば浸水深 2～4 m の地域が広くあり、勝浦町をはじめとした他市町への迅速な避難が、もう一つの大きな、難しい課題です。

小松島・勝浦地域会：大木茂樹

坂野小学校で開催された小松島市総合防災訓練に徳島県建築士会の応急危険度判定士として参加して感じたことは、地域の皆さんの応急危険度判定に対する関心の高さです。

今年は、正月に石川県能登半島での地震やお盆の前の宮崎県日向灘での地震とそれに伴う南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど、近い将来に発生すると言われる南海トラフ巨大地震が現実味を帯びてきたので、特に関心の高いものとなったと思われます。

この度は、避難所の危険度判定についてということで、先の熊本地震の際に避難所が使えなかったということがあったため、建物の傾きの簡易な測定を体験していただいて、応急危険度判定とはどういうことをするのかという概略説明を行いました。また、判定のステッカーの意味についてもここ最近の地震の報道の際にテレビ画面を

通じて見ているので、特に興味を持たれていました。

最後に、このような地域の防災訓練を通じて応急危険度判定の意味と活動の重要性を地域の住民の方々のみならず、建築士の資格を持つ人たちにも理解していただくよう活動していかなければならないと感じました。

小松島・勝浦地域会：庄野章夫

南海トラフ最前線で40分後には津波が襲来するという立地条件の小松島市では、常に意識を高く保つ必要があるということ、参加者の言動から知らされる総合的な避難訓練となりました。その中で避難場所の確保のためには、まずはその建物自体が耐震的なのかを知るところから始めませんかという、建築士ならではの視点からの提言に大きく頷く方もいました。建築士の存在意義と、今後の防災対策の両面から、地域の方達との接点を増やす意味と価値を深く知る良いきっかけになりました。

小松島・勝浦地域会：時本昌典

防災訓練に参加しての感想ですが、分かっているようで分かっていない、を感じました。今年の夏はパリオリンピックがありました、アスリートが練習を積み重ねるのは練習したことしか本番で出せないことを物語っています。防災訓練も同じで、身につくまで練習が必要だと感じました。

【阿南市総合防災訓練】

阿南市第二中学校 / 2月9日 /

中山俊秀・ペンネーム H2G・矢部洋二郎



津波浸水の恐れのない訓練会場では豚汁などの炊き出しを地元住民が行い、住民約200名、支援員約150名の大勢の参加がありました。

<令和6年度の県市町防災訓練へ参加実績 計8回>

●地域会だより●

『太陽の塔』の見学ツアーに参加して

青年地域会 山本めぐみ

『太陽の塔』と言えば、1970年（昭和45年）大阪万博、お祭り広場、岡本太郎…

大先輩方から、当時のわくわく感と経済大国へと成り上がる日本の勢いを感じる話をよく聞いていた。残念ながら私の生まれる前のことで、どこか現実味のない話で、そんな時代があったのかと羨ましく思っていた。

なぜ『太陽の塔』だったのか…

芸術新潮（1996年5月号）には、岡本太郎は、大阪万博のテーマプロデューサーを引き受けた際、万博テーマであった、“進歩と調和”に反対と公言。「人類は進歩なんかしていない。なにが進歩だ。縄文土器の凄さを見ろ。ラスコーの壁画だって、ツタンカーメンだって、今の人間にあんなもの作れるか。“調和”と言うが、みんなが少しずつ自分を殺して、頭を下げあって、こっちも六分、相手も六分どおり。それで馴れあってる調和なんて卑しい。ガンガンとフェアに相手とぶつかりあって、闘って、そこに生まれるのが本当の調和なんだ。まず闘わなければ調和は生まれない。だから『太陽の塔』なんだ。EXPO'70= 進歩と調和だという訳で、テクノロジーを駆使し、ピカピカチャカチャカ。モダーニズムが会場にあふれることは目に見えている。それに対して、ガツーンとまったく反対のもの、太古の昔から、ほんとそこに生えていたんじゃないかと思われるような、そして周囲とまったく調和しない、そういうものを突きつける必要があったんだ。」そうだったんだと納得させられると同時に、熱いものが込みあげる。岡本太郎の言動には、人間の真の部分、もっとも大切な部分を真っ向から刺激されている気がして、いつもハッとさせられる。

丹下健三が設計した大屋根を『太陽の塔』が貫いたことも、「優雅におさまっている大屋根の平面に、バラボーなものを対決させる。屋根が30メートルなら、それをつき破ってのびる70メートルの塔のイメージが瞬間に心にひらめいた」と後に説明している。そして、まわりの建物、大屋根は撤去されたが、『太陽の塔』は残っている…

近づくと、その迫力に圧倒される。見上げると、その表面の凹凸や、背面の〈黒い太陽〉がレンガ調の表情だったり、写真ではわからなかったことが体感できた。内部に入ると、〈地底の太陽〉が出迎えてくれる。そこには土偶や何か祭事に使うであろう仮面や神像が飾られ、人間の心の奥底にある根源的な感情を揺さぶる。更に進むと、床一面に光かがやくクラゲやアメーバ状の生き物。見上げると吸い込まれそうな空間に、生命の進化、壮大

な地球、そして宇宙が表現されていた。人間なんて宇宙時間のほんの一瞬を生きているにすぎない。途方もない宇宙を感じる空間であり、得体のしれない巨大なものに包まれ、不思議と安堵する空間であった。



写真1：背面の〈黒い太陽〉



写真2：〈地底の太陽〉ゾーンの土偶



写真3：〈生命の樹〉の原生類時代

●あなたが出番●

カートレース 参加しています

川島地域会 竹内 祐輔

こんにちは。川島地域会の竹内です。

まちかどを書くために以前の記事を見返したところカートレースを初めて体験してから今年で7年目に入りました。前は若手建築志交流会 in ひろしまでの徳島県チーム優勝とその翌年開催した県内交流会のタイムアタックレースについて書きました。



<6年前の若手建築志交流会 in ひろしま>

今回は年3回行われている4時間耐久レースと不定期に行っている交流走行会について書いてみたいと思います。

4時間耐久レースはレンタルカートを使用し一周約800mのコースを4時間かけて走り続けるレースです。1チームは3～4人でエントリーし乗り換えをしながら走ります。レースの参加チームは約30チームほどで一斉に走って周回数と順位を競っています。

車のスピードは最高70km/h 程度ですが目線が低いのですごく速く感じます。



<耐久レーススタートグリッド>

建築士会チームは毎回2チームエントリーしていて上位を狙うチームと、走行を楽しむことを主としているチームで参加メンバーを振り分けています。最近の成績では3位入賞もできるようになってきました。



<3位入賞トロフィー>

不定期で行っている交流走行会には建築士会だけでなく他団体との交流も行ったりしています。カートを始めた頃は4人程度だった建築士会カートグループも20人まで増えました。川島地域会だけでなく徳島支部、鳴門支部、板野支部、三好支部と参加地域も広がっています。車好きな人、レース好きな人、レンタルカートに乗ってみたい人、一度乗ってみると楽しさがわかると思いますので初めてでも気楽に声をかけて下さい。

参加メンバー、募集中です！

川島地域会 竹内祐輔までご連絡ください。

メールアドレス：mog1106@yahoo.co.jp



<耐久レース走行風景>

●士会だよりー広報渉外委員会●

建築士の日

毎年「7月1日」は「建築士の日」と定められています。これは「建築士法」が昭和25年7月1日に施行されたことを記念して定められたものです。その目的は、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認する」というものです。

本会では、徳島市のまちづくりにおける建築士の役割を広報するため、講演会を計画しています。

徳島で活躍する経済人の御意見を伺うことも検討しております。

と き 6月28日(土) (予定)

ところ 未定

●行政だよりー徳島市●

令和7年度徳島市木造住宅耐震化事業について

- 1 受付開始日
令和7年4月15日(火)から
- 2 令和6年度からの変更事項
- (1) 補強計画及びスマート化支援事業の廃止
 - (2) 診断、改修のバック申込み受付しない
- ※上記変更に伴い申込書等の様式の一部を変更しますが、令和6年度の様式であっても内容が確認できれば受付します
- 3 参考
- 令和7年度における補助額の変更はありません
- ・耐震改修 130万円 (感震ブレイカー含む)
 - ・耐震シェルター 80万円
(感震ブレイカー設置希望者は+10万円)
 - ・耐震ベッド 40万円
(感震ブレイカー設置希望者は+10万円)
 - ・住替え 30万円

●士会だよりー本部●

令和7年度一級／二級／木造建築士定期講習について

今年度の定期講習の受講対象となる方は、前回の受講年月日が、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの方となります。

昨年度より紙での申込みができなくなり、インターネットでの申

込みのみとなりました。

インターネットによる申込みが不慣れな方につきましては、会員サービスの一環として事務局でサポートさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

※なお、士会事務局でのサポートは、建築技術教育普及センターで受講される方のみが対象となりますのでご了承ください。

講習日程 令和7年 6月11日(木)
8月26日(火)
10月15日(木)
12月2日(火)
令和8年 2月19日(木)

●士会だよりー徳島県●

監理技術者講習について

- ・日 程
- 第1回 令和7年6月12日(木)
 - 第2回 令和7年10月2日(木)
 - 第3回 令和7年12月3日(木)
- ・時 間
- 受付 9:00～
 - 講習 9:30～17:20(各回共通)
- ・会 場
- 徳島県建設センター5階 徳島県建築士会会議室
- ・受講手数料
- WEB申込み 9,500円 (テキスト代・消費税込み)
 - 郵送申込み 10,000円 (テキスト代・消費税込み)
- ※本会の講習受講で6単位 (CPD 情報提供制度) 取得
- ・建築士会 CPD 参加により WEB での問題回答で本講習受講後5年間、最大18単位／年を取得

編集後記

- ・実家が耐震改修を始めました。母が、工事の音が頭に響くとこぼしますが、僕にはとてもやさやかな音にしか聞こえません。工事現場の騒音に慣れているからでしょうか。(ノーリツ号)
- ・暑くなってきましたね！ (ひとはたうさぎ)
- ・もう夏ですね。 (ぺべい)

建築士会本部行事

令和7年5月		令和7年6月	
14日(木) 住宅相談	(士会会議室)	7日(土) 第74回通常総会	(阿波観光ホテル)
10日(土) 徳島地域会総会	(建設センター)	11日(木) 建築士定期講習	(建設センター)
14日(木) 会計監査・理事会	(士会会議室)	住宅相談	(士会会議室)
28日(木) 建築相談	(士会会議室)	12日(木) 監理技術者講習	(士会会議室)
		14・15日 中四国ブロック青年・女性建築士の集い岡山大会	(岡山県)
		25日(木) 建築相談	(士会会議室)
		26・27日 中国四国ブロック会総会及び第1回会長会議	(岡山県)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会
〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地
建設センター5F
[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710
[MAIL] tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp